

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	12-	6
事業名	育苗研修交流施設経費	
会計	一般	
款	6	
項	1	
目		3
施策	5 賑わうまち	課名 産業課
	5-1 働きがいのあるまちをつくる	係名 産業振興係
	5-1-1 農業の振興	
主要施策	④流通体制の充実	⑤都市と農村との交流の促進

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の効率的な運営と野菜・園芸教室等の開催により、高齢者の生きがいがづくりや住民の憩いの場・交流の場を提供します。
事業内容			野菜・園芸教室・・・野菜・花卉等の栽培を通じて、住民の緑化意識の推進を図ります。 ※年間10回(毎月第2火曜日) 朝市、朝市祭・・・ふらわあ〜びれっじ運営協議会との協働により、地元で採れた安全・安心な農産物の直売等を通じて地産地消を推進します。 ※朝市：毎月第1・3日曜日、朝市祭：8月12日(固定日)	

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
指標	1 野菜・園芸教室参加人数	29	29	20	人	↑	30
	2 朝市への入場者数	881	749	652	人	↑	1,000
	3						
	4						
	5						
		平成29年度(決算)		平成30年度(決算)			平成31年度(予算)
全体事業費(千円) A+B				459	3,151		3,063
財源内訳	直接事業費 A			459	577		489
	うち一般財源			74	176		92
人件費(千円) B				0	2,574		2,574
内訳	一般職員(人・千円)			0	0.39	2,574	0.39
	臨時職員(人・千円)			0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	VII 終了(事業を終了すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	日曜朝市の活性化に向けて、これまでに様々な対策を講じてきたが、決定打が見い出せない状況である。出店者及び来場者も減少している。
②H30年度に実施した取り組み	緑化意識の高揚と老後の生きがいがづくりを図るため、年間10回の「野菜・園芸教室」を開催し、また、ふらわあ〜びれっじ運営協議会と協働により地産地消を推進するため、朝市・朝市祭を開催した。	④今後の改善計画	野菜・園芸教室は、開催場所を変更し継続して開催する。朝市・朝市祭については、出店者の高齢化や来場者も固定化していることから、事業終息に向け協議する。